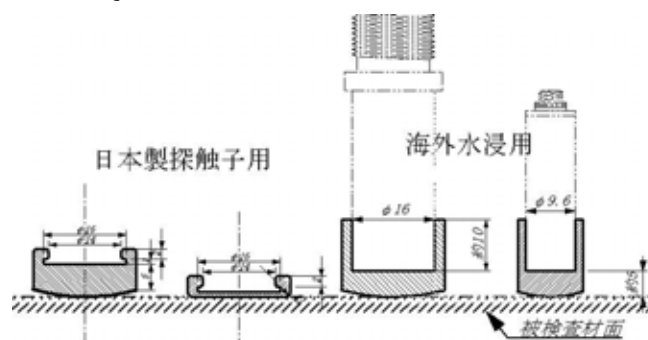


ドライ・カップリング用ゴム

ドライカップリング用として以下を販売しています。

- 1) 主にゴム・キャップ形状で超音波の減衰が非常にすくない材質
- 2) 少し硬めですが、上記より更に減衰の少ないもの
- 3) 200 超えの耐熱を目的にしたシリコンゴム系
- 4) 非検査材料に対する密着性が良く、圧力が上がると超音波の透過性が良くなる粘着タイプ
- 5) 同様に密着性が良く、且つ形状変化させやすい厚めのタイプ



以下より詳しく説明します。

1) のタイプ低減衰ゴム・キャップ

特殊なゴム主体のキャップです。切断強

度に弱いので、型の流し込みで探触子に先端に嵌めるキャップとして供給します。右図の4種があります。シートも供給可能です。

少量の油等を塗れる場合は、走査も多少可能です。

2) 3) は厚めのシートのみです。

4) のタイプ：密着型ゴム（正確にはゴムではありません。）

これは、粘着力が強く、走査する場合には使えません。元々音響領域の振動減衰材ですので、厚いものは減衰量が大きくなります。高い周波数は薄いものを選定ください。低い周波数例えば0.5 MHzでは3 mm程度まで影響ありません。圧力を加えると減衰特性が飽和する為、1cm平方当たり3kgfの力を加える事を推奨します。

厚さは0.3 mm、0.5 mm、0.8 mm、1 mm、2 mmです。硬度は30度、40度、50度の3種製造できますが、使い安さを考慮し、0.3 mmと0.5 mm厚さは30度を在庫、1 mmは40度を標準在庫としています。

通常探触子側へは両面テープで貼り付けて使う事をお勧めします。両面テープは紙質のものは減衰が大きいです。成るべく薄いポリエステルなどのプラスチック・フィルム・ベースのものを使用すると特性良好です。

5) はフックの法則に従わないゴムです。従って一定以上の力で容易に変形できるようになります。垂直や斜角探触子で、元々の角度から少し角度を振りたい場合、相手の面の凸凹が多い場合に使用します。

ドライカップリングの用途は

- ✓ 単にドライ・カップリングにしたい場合
- ✓ 多穴質体は、接触媒質を塗っても、染み込んでしまって、安定した実験ができません。この場合に有効です。（柔らかい材質の場合はゲル状接触媒質が良い。）
- ✓ 表面に塗装などがあり、この塗装が厚く凸凹している場合の中間材に。この場合は接触媒質を両面に塗ると効率的な作業ができます。

なお、標準在庫や価格は以下を確認ください。

isl@kcn.ne.jp

<http://www.i-sl.co.jp/>